

平成 30 年度

第 6 回 医療・健康セミナー

今回のテーマ

「頭のケガ・しばらく後からボケがくる」

(まんせいこうまくかけっしゅ)

～ 慢性硬膜下血腫の話 ～

頭のケガが怖いのは、後から症状が出ることもあるから。軽いケガでも同じです。高齢者に多いのは慢性硬膜下血腫。ケガから 1 か月くらいして、ボケのような症状が出てきます。その頃にはケガをしたことを忘れていることが多いので、よくある認知症になったと勘違いしてしまいます。でも手術をすればほとんどが治ります。

それを知らないで後悔することのないように、この病気を解説します。

* 片山総長は 8/6 ～ 11/19 にかけて東奥日報の月曜夕刊に

「先端技術で挑む 青森新都市病院の脳手術」を連載していました。*

講師

青森新都市病院 脳神経外科医 (脳と健康科学研究センター長)

かたやま よういち

片山 容一 総長



日時

2019 年

1 月 24 日 (木) 16:30 ～ 17:30

場所

青森新都市病院 3 階講堂

対象

地域住民の方・医療関係者・その他 (どなたでも参加できます)

お申し込み不要

参加費 無料

提携駐車場無料

お問合せ先：青森新都市病院 医療情報課 経営企画・情報係

TEL：017-757-8750 MAIL：aomori-kikaku01@yushinkai.jp